



国際会長主題 「より良い明日のために今日を築こう」 (Building today for a better tomorrow) Jennifer Jones (オーストラリア)

アジア太平洋地域会長主題 「アクション」 (Action) 田中 博之 (日本)
 東日本区理事主題 「勇気ある変革、愛ある行動！」 山田 敏明 (十勝)
 東新部部長主題 「心を尽くして、YMCAのために」 小川 圭一 (東京世田谷)
 クラブ会長主題 「クラブライフを楽しもう」 朝倉 正昭 (東京世田谷)
 Enjoy your club-life!

会長 朝倉 正昭
 副会長 松井 直樹
 書記 松井 直樹

2020年3月会報

強調テーマ

* B F / メ ネット *

会計 小原 武夫
 直前会長 寺門 文雄
 担当主事 池田麻梨子

東京西クラブ 受付 神谷 幸男
 東京世田谷クラブ受付 小原 武夫
 司会 石井 元子
 開会点鐘 東京西クラブ会長 篠原 文恵
 いざたて ー 同
 聖書朗読・祈祷 神谷 幸男
 挨拶と紹介 東京西クラブ会長 篠原 文恵
 東京世田谷クラブ会長 朝倉 正昭
 会食 ー 同
 卓話 『『フードバンク』に期待されていること』
 ーフードバンク活動のご紹介ー
 NPO法人フードバンクネット西埼玉
 代表理事 黒田 一代さん
 ハッピーバースデー21日：吉田明弘、30日：小原武夫
 31日：大野貞次
 結婚記念日 2日：小原夫妻、26日：寺門夫妻

↑今月の聖句

今までは、あなたがたはわたしの名によっては何も願わなかった。願いなさい。

そうすれば与えられ、

あなたがたは喜びで満たされる。

Until now you have not asked for anything

in my name ;ask and you will receive,

so that your happiness may be complete.

新約聖書 ヨハネによる福音書 16章 24節

(神谷幸男・東京西クラブ 選)

新型コロナウイルスの影響で例会中止に

※ 3月例会プログラム

とき 令和2年3月19日(木) 18:30~20:30

ところ 「ウェルファーム杉並」 4F 第5会議室

杉並区天沼 3-19-16

電話 03-5335-7318

諸報告 両会長 他
 YMCA報告 両担当主事
 ニコニコ ー 同
 閉会点鐘 東京世田谷クラブ会長 朝倉 正昭

2月のデータ	会員在籍 11名	例会出席者 2/21日(金)	2月のBF	ニコニコファンド 2月 7,620円 年度計 56,879円
	出席率 91%	会員 9名 メネット 0名 メイキャップ 1名 ゲスト 1名 ビジター 1名 合計 12名	切手 0g 現金 2,400円 累計切手 0g	
	第2例会 2/27日(木) (7名出席)	合計 12名		注：JOCS 献金記録の掲載 すずらん会やコミュニティコンサート ではかねてよりJOCSへの応援を行って いる。 使用済み切手とワンコインの 献金など。
	朝倉、小川、小原、川嶋、 寺門、松井、池田、	すずらん会参加者 2/27日(木) ゲスト 0名 スタッフ 7名 合計 7名 新型コロナウイルスの影響で	東京世田谷ワイズメンズクラブは 2019年10月31日 社団法人日本 キリスト教海外医療協力会 (JOCS) に年会費 10,000円を納入し継続しま した。	

※ 本日のメインプログラム

卓話者紹介

黒田 和代さん (くろだ かずよ)

社会福祉士 精神保健福祉士

早稲田大学教育学部卒。30代の半ばから福祉の仕事に就き、高齢者、精神障害者の施設勤務を経て、2008年から「独立型社会福祉士」として活動。成年後見や福祉サービス第三者評価、各種窓口での非常勤相談員などの仕事をする傍ら、自分が生活する地域に貢献できる活動にも取り組みたいと、2009年に社会福祉士仲間と困窮者支援のNPO法人サマリアを立ち上げた。

2015年12月から、サマリアの事業の一つとしてフードバンク活動が始まり、2016年7月には「NPO法人フードバンクネット西埼玉」として独立、2018年7月から代表理事となり現在に至る。家族は、パートナーと犬2匹と猫1匹。

※ 2月例会報告



当日は新しく三浦功雄さんも参加して「自由談話」ということで、まずはこれまで誰も聞いたことがない小原さんと世田谷

クラブとの出会いのお話しを伺いました。

1984年に池袋ロータリーの杉山さん(世田谷クラブ会員)から、午餐会に誘われたのが最初だそうです。

その後、1991年加藤利榮日本区理事の書記として各地のクラブを訪問。2001年、東日本区理事に、小川書記と共にご苦労を。9.11の同時多発テロ事件。東日本区沖縄大会を担当しました。歌の会は峰会長年度に1年の準備をかけ、楽しかった江ノ島合宿を経て実現化にこぎつけました。

小原さんは、故小堀憲助・中大法学部教授の論文「奉仕クラブとしてのワイズの在り方」を参考に、「奉仕クラブの原点は、友情をはぐくみ、思いやりの心をもってクラブライフを満喫し、YMCAと共に、集う人々のエネルギーを何らかの形で社会改良のエネルギーとして放出し続けられることを願いつつ、クラブライフを送れることではないでしょうか」と語られて。

次に、1995年に入会した小川さんは、ご本人の生き方をこれまで応援してくれたことに謝意を述べ、教会とクラブとのコラボによる歌の会の活動の成果を報告。チャリティーコンサートでの小原さんとの出会いから、これ

までに大変に良いクラブライフを送れて良かったですとその感想を述べました。

川嶋さんは、チャーターメンバーの富田さんと知り合ってから、すでに50年を数えていると報告。出会った方々との様々な交流を語って頂きました。

岩崎さんは、ロータリーやライオンズとの違いを指摘。1972年に熱海クラブに2年間所属して以来、仕事の関係で東京へ移籍して、竹内敏郎さん(第59代国際会長)から教えて頂いたように出席第一を旨としたクラブライフを送って来たことを報告して頂きました。

村野さんは、目黒での50年にわたる活動を報告。世田谷では5人位の小規模単位のクラブ活動に興味を持っていることなどを述べました。

峰さんには、世田谷クラブの歌の地域活動について報告して頂きました。

史奈子さんは、スキーキャンプからの経緯を報告。タンポポの活動を更に盛んにして行きたいとその抱負を述べました。

マリリンは、最近、経堂の地域新聞(ウェブ)に南センターの活動が取り上げられるなど徐々に地域に信頼される組織になりつつあると報告。今後の方向性についての積極的な意見を述べてくれました。

なお私は、大地震や地球温暖化による大災害が続く中、ワイズの互助的な奉仕活動の重要性は以前より増しており、それとクラブライフは「車の両輪」であることを強調。またクラブも教会もその由来は、アソシエーションというヨーロッパ的な法人組織であり、その特徴は上から目線の多数決原理ではなく、構成員の下からの意見を汲み上げる点にあり、仮にそれがないと無駄な費用と不満足な結果に終わることを指摘させて頂きました。

(松井 記)



※ 第2例会(2月27日)打ち合わせ事項

- 1 3月ブリテンについて
締め切り日: 3月6日(金)
印刷日: 3月10日(火) 16:00~
- 2 報告事項:
2月21日の話し合いについて
後期公式訪問 2月から各クラブの第2例会を回る
→キャンセル

YMCA 保育園「ねがい」の件。友の会と共に
その他について
台風 19 号・15 号被災地支援の件
新型コロナウイルスの件

3 協議事項

- ① 3 月 19 日 (木)、18:45～ 東京西クラブとの
合同例会 中止
- ② 4 月 18 日 (土) 第 3 回評議会 山手センター
13:30～ 集合 12:00
- ③ 6 月 6 日 (土) 第 23 回 東日本区 帯広大会→
締め切り 4 月 20 日まで
各個人で申し込みをする。

※ YMCA 保育園「ねがい」ガーデニング報告



朝、登園して来る子どもたちを待ちながら、園庭花壇のシクラメンの花が摘みをしています。3 月に入りそれぞれの花が春に向けて生長していることがうか

がえます。ビオラは花の数が増え、葉牡丹は太陽に向けて背伸びをし、待ちに待ったスイセンとクロッカスは花を咲かせています。チュリップは葉を伸ばし、蕾の準備をしているようです。子どもたちは、新しい花が咲いたのを見つくと、近くにいる大人に「咲いたよ、咲いたよ」と知らせに来てくれます。その気持ちは私も同じで、ビオトープ奥のプランターに、紫と白が混合している珍しいクロッカスを見つけた時、誰かに報告したくなりました。保護者の方も、花壇を見て「きれいですね。」と声を掛けてくださいます。そんな時は、世田谷ワイズメンズクラブの方たちがしてくださっていること、また春に手入れに来てくださることを話しています。

「ねがい」の園庭を自然豊かな場所にしたいと思っています。ワイズメンズクラブの方たちと一緒に作っていきたくと思っていますので、これからもよろしく願いいたします。
(高橋園長 記)

※ 東京 YMCA にほんご学院「スピーチコンテスト」 「世田谷ワイズメンズクラブ賞」を贈呈式も

東京 YMCA にほんご学院「スピーチコンテスト」(協賛: 世田谷クラブ他) が、今年も 2 月 17 日、社会体育・保育専門学校にて開催され、「世田谷ワイズメンズクラブ賞」の贈呈式も行われました。なお世田谷からは、張替さんと村野さんと松井が出席しました。

このコンテストは毎年 2 月に開催しているもので、例年、日本語を学んでいる 18 歳以上の留学生ならではのユニークな視点や熱意あふれるスピーチが披露され、来場

者にも大好評です。今年も 160 名から選ばれた学生たちが日本での発見、将来の自分の夢など自由なテーマでスピーチを行いました。

ただその皆がほとんど、コンビニや外食産業で働いており、日本語が上手にできなくて困っているのです。そして、特に接客の現場では、日本人のお客に笑われたり避けられたり、日本語が通じないので怒られたりするのです。でもそれを遠い国にいて心配している親には言えないので、一人で泣いている訳なのです。

また外食産業では、日本語が少ししか出来ない留学生は皆、洗い場です。立ったままの大変な仕事です。終わっても疲れ切って勉強も出来ない。それは奥の厨房なので表にはできませんが、そうやって、外国人留学生の安い労働力で日本の外食産業は成り立っています。

70 年前の強制連行もその根本にあるのは、日本人の朝鮮半島やアジアの人々への差別でした。それは今もヘイトスピーチなどで引きずっています。

ですから、こうした差別というのは、戦前の 70 年前とはずいぶんと違いますが、今でも実は、形を変えて生き残っています。

ところで福祉先進国スウェーデンでは、このように外国人が「言葉ができない」こと自体が、広い意味での「障害」と捉えています。そのため、障害者の定義が日本と違って広く、従って、国民の四分の一が障害者に該当するのでそのための教育費に消費税が使われています。

今度コンビニへ行った時に、日本人の店員さんと外国人の店員さんがいたら、外国人の定員さんの方に並びたいなと思いました。



(松井 記)

以下が受賞者です。

- ◆最優秀賞 [中・上級の部]
『自分のために生きましょう』 ベトナム
Kieu Thi Lan Oanh (キュウ ティ ラン オアン)
- ◆最優秀賞 [初・初中級の部]
『幸せなこと』 台湾
唐 智謙 (トウ チケン)
- ◆優秀賞
『そうだ！迷惑をかけよう！』 ベトナム
Nguyen Nguyet Anh (グエン グエット アイン)
- ◆東京ワイズメンズクラブ賞
『日本が私を変えてくれた』 ミャンマー
Ei Ko Ko Nyein (イ コ コ ニエン)

- ◆東京世田谷ワイズメンズクラブ賞
『どうして日本語を勉強しますか?』 ベトナム
Cao Xuan Huy (カオ スアン フイ)
- ◆東京多摩みなみワイズメンズクラブ賞
『礼儀の国』 中国
李 浩淼 (リ コウミョウ)

✽ 会長通信 2003

皆様にはご迷惑をお掛けしましたが、2月15日から2月23日まで、私の趣味を優先させて頂き、今年も海外のスキー旅行を楽しんできました。行く先は北京の次の冬季オリンピックが開催される予定のイタリア北部のコルチナダンペッツオでした。丁度出かける2週間前から、中国の武漢で新型コロナウィルスが発生し、日本ではプリンセスダイヤモンド号が横浜へ入港し、その防疫、水際対策について、マスコミが大々的に取り上げ始めた時期でした。私がイタリアのベニス空港を経由し、スイスのジュネーブ空港で入国するときも、中国で新型のウィルスが発見され中国では大変な事になっているので旅行者は注意する様にとというアナウンスが流される程度で、特別の防疫措置は取られていませんでした。現地滞在中もイタリア語のニュースでは、中国の状況が流される程度で、日本で取られているような措置もまったくありませんでした。2月24日に帰国して見ると、日本だけでなく世界各国での新型ウィルスの拡散の状況が日に日に報じられており、事態の深刻さを感じさせられました。今また、帰国後一週間が経過して、状況は深刻の一途を辿っています。政府は更なる拡大を阻止する為に、各種会合や、イベントの中止、順延、高校、中学、小学校の休校を要請しました。これらの措置は、新型ウィルスの拡散防止の為に、やむを得ない措置という事は大局的には、理解をせざるを得ませんが、これらの措置が、国民経済に与える甚大な影響を考えると、行政はこんな十把一絡げのようなやり方でなく、もっと国民が理解しやすい懇切丁寧なやり方があるのではないかと率直に思います。一か月もお子さんが家庭に留め置かれて、共稼ぎのご夫婦、シングルマザーのご家庭は、どの様に対応する事が出来るのでしょうか？ 又政府はそれぞれの企業や家庭が自己責任で対応するべきとか、失われる収入の保証は全く考慮しないという様に表明しています。確かに、財政規模や財政状況が異なるので、一律に補助しますというのも無責任です。然し乍ら膨大な日本の官僚機構は何のために存在するのでしょうか。優秀な官僚を使えるのは政治家だけですし、そうする事で、きめの細かい対応策であったり、国民への説明が出来るのではないのでしょうか。問題は、この問題だけでなく政治家が、国民に向かって政治をしているのか否かという事です。昨日世田谷クラブでも定例の経堂緑岡教会でのすずらん会を中止しました。歌の会を楽しみにされている方を考えれば、決行という判断もあったと思いますが、参加者が高齢なので、歌の会に参加される事で万一新型コロナウィル

スに罹患され、更に今の状況を拡大してしまう可能性を、考えれば正しい決定であったと思います。我々は、政府や、行政が言うからではなく、参加される立場に立って、どの様な決定をしなければならないかと考えるべきです。

今後も、どの様に状況が変化するかは全く予断を許しませんが、どの様に物事を考えるべきかの一指針を与えられたとみれば、我々の今後の展開を考える際の一助を得たとみる事もできるのではないのでしょうか？ いろいろな事を考えさせられる今日この頃です。
す。(朝倉 記)

* 今後の卓話予定

- 3月 東京西クラブとの合同 (中止)
- 4月 池田麻梨子担当主事 フロストバレー報告

* 今後のスケジュール

- 3月12日(金) 下北沢すずらん会
- 3月18日(水) 三茶 ボラセン
- 3月26日(木) すずらん歌の会・第2例会

✽ YMCA NEWS

2月15日、台風19号被災地支援として、「リフレッシュ・デイキャンプ in 長野」を清泉女学院大学・短期大学上野キャンパスを会場に実施し、被災した子どもたち5名とその家族が参加した。東京YMCAのボランティアリーダー、職員の他、山梨YMCAや社会福祉法人賛育会からも応援があった。

2月17日に、にほんご学院のスピーチコンテストが実施された。

全国YMCAで取り組んでいるいじめ反対キャンペーン「ピンクシャツデー」が2月26日に設定され、南センターのリーダーたちもピンクのものを身につけ賛同した。2月21日に3階女子トイレの便座が暖かいものになる工事が実施された。



2月24日～26日で南センターのリーダーたち10名とスタッフ2名で特別リーダートレーニング兼リト

リートを実施した。尾瀬戸倉にてスキー技術の向上と今後の南センターについて考える機会となった。

今後の予定

3月中のプログラムはすべて中止となった。(定例野外活動、キャンプ) ただし、英会話クラスとASCAクラスは通常通り継続されている。

3月21日の卒業リーダーを祝う会は、実施する予定である。

大きな怪我は無く終了しましたこと、感謝を持ってご報告します。